

# 会報工房

第18号  
2012年(平成24年)  
11月3日  
土曜日

『会報工房』とは?  
創像工房 in front of. は演劇、お笑い、映画などを創作する慶應義塾大学の公認団体です。『会報工房』では創像工房 in front of. の活動報告と、公演では見ることのできない工房員の一面をお見せします。公演案内と共に、お楽しみください。

本号の編集長＝池田瑠璃子  
ご意見 sozo\_kaihou@hotmail.co.jp

## 今後の活動 現在進行中の 本企画の情報

### 創像工房 in front of. × 相鉄本多劇場 『お姉ちゃん讃歌』

脚本・演出 駒場源貴  
日程 11月30日、12月2日  
場所 相鉄本多劇場  
あいさつ 卒業する今年、今後の創像に遺せるような公演を打ちたく、今回創像久しぶりに外劇場である相鉄本多劇場でテッカくやります。ひたすら楽しめる、人をげんきにするような芝居をやりたく思いますので、ぜひ冬、相鉄本多劇場にお越し下さい！

### 12月シチュエーションオムニバス公演 『やねおむ』

企画・総合演出 前田喜郎  
脚本 久保智太郎 岩橋洋介 他  
日程 12月21日、12月23日  
場所 慶應義塾大学日吉キャンパス 塾生会館地下アトリエ合C  
あいさつ 純粋に楽しんでいただけるといいな公演にしたいと思っています！学生演劇でもエンタメしたい！

### 1月公演 『SURVIVOR』

脚本・演出 小口武蔵  
日程 1月10日、1月13日  
場所 慶應義塾大学日吉キャンパス 塾生会館地下アトリエ合C  
あいさつ NOエロス！NOグロテスク！NOパイオレンス！結局僕がやりたいことや好きなことってこういうことでした。

### 2月企画 『創像フィルムフェスティバル2012』

企画責任 森卓也  
日程 2月8日、2月10日  
場所 慶應義塾大学日吉キャンパス 塾生会館地下アトリエ合C  
あいさつ 創像工房今年も映画やります。うおおお！頑張ります！是非、よろしくお願ひします。

## 活動報告 終了企画

WS公演  
『mother』  
小野翼  
脚本も演出も自由に好き放題やらせていただいて、ほんとに楽しかったです。企画のやぶさん、先輩方、役者さん、同期に感謝！

9月映画公演  
『恋するスイカの方程式』  
鈴木田祥悟  
企画と同時に夏が終わりました。例年より涼しく、そして暑い夏でした。これからも映画も出来る創像であつて欲しいです。協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

10月公演  
『熱狂』  
塩浦侑也  
彼女に振られました。(振られた側なのに何故か相手に泣かれました)留年宣告受けました。(それを告げる教師の顔は真剣そのものでした)それでも僕は幸せです。なぜだと思おう？芝居？のんのん。もしいろいろクローバーに会えたからですよ。

9月公演  
『報われる人生』  
秋山拓弥  
ご来場していただいた皆さん誠にありがとうございました。



## 学生演劇人交流会

### 開催

10月13日夜、秋葉原のレンタルパーティにて学生演劇人交流会が行われました。主催は、10月公演『はまる』の制作、学生を中心に様々な団体の演劇人、総勢70人が集まり、各団体の紹介や今後の活動の宣伝をしつつ、お酒を飲みながら交流する、楽しいイベントになりました。  
具体的な参加者としては創像工房から、はまる「関係者」、早稲田や明治などの学生演劇団体はもちろん、あなかけフラミンゴ、たすいちなどの劇団や、演劇コラムニスト手塚宏二さんもオブザーバーとして参加してくださりました。全体的にはお酒を飲みながら様々な演劇人と交流するパーティー形式で、途中に各団体の宣伝映像放映やPRタイムなどのプログラムを挟みながら、終始和やかな雰囲気での無事終えることができました。  
外部の参加者の皆さんからは、「たくさん交流ができて楽しかった」「宣伝ができて有意義だった」「同世代演劇人と交流する機会は初めてだったので、またやってほしい」





# 三田祭企画責任インタビュー

ついに三田祭まであと一ヶ月を切りました。一年生だけの大会イベント三田祭の企画責任の二人にインタビューしてきました。普段はわからない「企画のホンネ」お届けします。

自己紹介をお願いします。

神原「創像工房」一年の神原乃です。三田祭企画ですのうっちって呼ばれます。

熊倉「同じく三田祭企画の熊倉飛鳥です。よろしくお願ひします」

今回の三田祭のキックオフは？

神原「みんな公演としておられるものにするので、あとやばりの同校だけの企画だから楽しみたい。飛鳥は？」

熊倉「笑」三田祭は沢山の人が来るから、想像の名前も売れればいいかな。でもみんなが楽しんでくれる方がいいかな。って思われる感じで、なんか、もつと名前を売りたい。

熊倉「一年生だけ、準備すごいな。って思われる感じで、なんか、もつと名前を売りたい。人がどんな来てくれるようなにかを確立したい」

神原「あー、それあるね」

熊倉「普段の公演でも立て看板とかを見たお客さんが、あれ創像工房じゃん、面白いやつじゃんってなればいいよ」

神原「創像工房」だね。クオリティ高くて、かつみんなが楽しめる三田祭になるといいな」

三田祭準備で大変なことって？

神原「結構ない」

熊倉「そうね」

神原「合点でもないから全くの手探り状態だし」

熊倉「三田キャンパスだ」

神原「いちいち三田キャンパスまで行くの大変なんだよね。準備とかたくさんあるし」

熊倉「あと稽古場、文庫の言い合ひなんざとどんでん返しがめんどい(笑)」

神原「笑」

熊倉「演出家と役者が同じ一年生だから、すぐ意見が言いやすい環境なんだよね」

神原「それっていいことじゃん？」

熊倉「善くも悪くも感じる」

神原「あ、でもまあ、まあいいけど、今まで一番大変なのは、」

二人「初演し」

熊倉「温帯だった」

神原「初演の出来がスタッフのモチベーションを上げる」

熊倉「場所もどれなくって外でやったり、時間的にも色々大変だった」

神原「けどその後三田祭で3年代の上田さんに好評が続いてもらって嬉しかった」

熊倉「それっていいことじゃん？」

神原「善くも悪くも感じる」

熊倉「あ、でもまあ、まあいいけど、今まで一番大変なのは、」

二人「初演し」

熊倉「温帯だった」

神原「初演の出来がスタッフのモチベーションを上げる」

熊倉「場所もどれなくって外でやったり、時間的にも色々大変だった」

神原「けどその後三田祭で3年代の上田さんに好評が続いてもらって嬉しかった」

熊倉「それっていいことじゃん？」

神原「善くも悪くも感じる」

熊倉「あ、でもまあ、まあいいけど、今まで一番大変なのは、」

二人「初演し」

熊倉「温帯だった」

神原「初演の出来がスタッフのモチベーションを上げる」

熊倉「場所もどれなくって外でやったり、時間的にも色々大変だった」

神原「けどその後三田祭で3年代の上田さんに好評が続いてもらって嬉しかった」

熊倉「それっていいことじゃん？」

神原「善くも悪くも感じる」

熊倉「あ、でもまあ、まあいいけど、今まで一番大変なのは、」

二人「初演し」

熊倉「温帯だった」

神原「初演の出来がスタッフのモチベーションを上げる」

熊倉「場所もどれなくって外でやったり、時間的にも色々大変だった」

神原「けどその後三田祭で3年代の上田さんに好評が続いてもらって嬉しかった」



他には何をやっているんですか？  
神原「制作チーフ、衣装もやっています」  
熊倉「役者です」  
神原「王役です」  
熊倉「あ、うん。ピア=ホールの主役です」  
神原「副主役」  
熊倉「おう、自分の役割としては何が大変かな？  
神原「制作チーフとしては、今年制置がWSを受けた人が少なくて」



今回はなんと九作品のうちから選ばれた二作品の公演ですが、作品について一言お願いします。  
神原「まずは岩崎祐介の『傀儡』。内容は：基本コマンドだけと怪談だけとコマンドだけと超々、みたいな」  
熊倉「難しい言葉知ってるね」  
神原「テンポがよくて普通に変える面白い芝居だけど、人間の本性を踏つて、みたいなセリフを主演に注目」  
熊倉「初演者にして初主演の小川君ですね」  
神原「ピア=ホール」は主演の飛鳥が説明してくれませう」  
熊倉「知念満里亜のピア=ホールは絶賛改編中です」  
神原「どんな話？」  
熊倉「ちょっと変わるかもしれないからあらずは秘密、コマンドです」  
神原「テンポを楽しくて欲しい作品だよ」  
熊倉「そうそう、ドタバタコマンド」  
神原「二人の男女があるハッピーニングをきっかけに」  
熊倉「知念は演劇が好きじゃない人も楽しんでほしいって言うてたね」  
神原「岩崎も色んな人に来て欲しい作品にしたいって、三田祭は演劇観に来る人は、かじやないから」

最後にこの対談の読者について一言お願いします。  
神原「二年生みんなが読んでるので、誰か目で見たりしたら三田祭観たことあるよ」  
熊倉「…なんだろな」  
神原「私真面目なところだよ」  
熊倉「笑」つ、あ、会場の雰囲気捨てないでください」  
神原「三田祭を自分のものにするって野望がある」  
熊倉「なんか去年の企画が良かったらいいね、それ笑」  
神原「いや、違うから(笑) なんかいいこと言いなよ」  
熊倉「長いスカートの上、短いスカート派かなー 短いズボンでもいいよ」  
神原「三田祭も強くなりたい」  
熊倉「とりあえずあと一ヶ月頑張るので、是非観に来てください！」



三田祭公演のご案内  
「傀儡」  
脚本・演出 岩崎祐介  
「ピア=ホール」  
脚本・演出 知念満里亜  
11月22日～25日  
慶應義塾大学 三田キャンパス  
第一校舎 103教室にて

## 代表より、2012年締め言葉

ついに2012年の幹事会も終わりに近づいています。この一年、代表として創像工房を静かに支え、守ってきた亀ヶ谷くんに話を聞きました。

こんにちは。今年度代表を務めております。亀ヶ谷です。



2012年、幹事会としては広報や環境整備に力を入れました。Twitterの公式アカウントを本格的に始動させ

、多くのフォロー数を獲得しました。また器材の購入は例年より多く、財務事を主導にスタッフワーク向上のためのWSを定期的に行っておりま

す。ここ数年で部員数も大きく増え、最近では本場に多様な人材が所属するサークルになってきた気がします。演劇だけでなく、映画公演の方も徐々に増えてきました。同時に、多様な団体との関わりが増え、2010年の9月公演「天下第一回」のポスターが月9ドラマの小道具として使用された時は嬉しかったです。

OBの方々は、日頃より、ご支援ご指導頂きまして本当に感謝しております。ありがとうございます。今後とも是非観劇にいらしてください！」  
近年、創像工房は慶應でも有数の大規模サークルになり、小劇場や自主製作映画界隈での知名度も以前にも増して上がってきました。これもひとえにOB、OGの皆さんのこれまでの積み上げや日頃のご支援のおかげです。今後とも現役工房員をご支援頂ければ幸いです。  
(池田)